

北町西小

ことばの教室

令和7年度 第5号 学級通信

練馬区立北町西小学校

特別支援学級（言語障害通級指導学級）

TEL/FAX 3932-7631 教室直通



ようやく秋の訪れが感じられるようになり、学習、スポーツ、読書などに
取り組みやすい季節になってきました。通級時には、運動会や展覧会、
学習発表会など、それぞれの学校の行事の話を聞いています。



子供たちが様々な体験を通して、大きく成長する機会となるように、エール
を送りたいと思います。気候の変化や疲れで体調を崩しやすい時期です。体調
管理に気を付け、元気に通級してください。



行事予定

<10月>

28日（火）吃音グループ学習（対象児童のみ）
（15:00～16:00）

<11月>

4日（火）江北ブロック研究会（午後出張）
7日（金）北町西小学校就学時健診
（午後指導なし）
8日（土）北町西小学校 学校公開
13日（木）言語運営研究会（午前指導なし）
20日（木）小中合同研修会（午後指導なし）
21日（金）ことばの教室学習発表会週間始
25日（火）通級指導学級研究会（午後出張）

<12月>

2日（火）江北ブロック研究会（午後出張）
5日（金）ことばの教室学習発表会週間終わり
8日（月）言語運営研究会・区入級検討会（午前）
※担当者によって指導なし
10日（水）2学期通級指導終
13日（土）北町西小学校学習発表会保護者鑑賞日
15日（月）北町西小学校 振替休業日
16日（火）～19日（金）個人面談週間
※担当者より個別にお知らせいたします
18日（木）専門家相談（午後）

ことばの教室

学習発表会



期間

11月21日（金）午後1時半から
12月 5日（金）午前10時15分
まで

場所

ことばの教室どうの部屋
（プレイルーム）

鑑賞

通級時間に、それぞれで
鑑賞や発表をします。

内容

好きなことの紹介
得意なことの紹介
クイズ
作品展示
動画発表など



どうぞ よろしく

10月8日に入級検討会を開催し、5名の児童が新たに入級となりました。
通級時間に出会ったら、子供同士、保護者同士、仲良くなれたらよいと思います。



「読み書きに困難のある児童と保護者の支援～当事者の立場から～」

関口 裕昭氏（武蔵野市児童発達支援センター 言語聴覚士）ご講演

都難言協会報 2024 年 7 月号より 一部抜粋



★発達性読み書き障害とは？

発達性読み書き障害とは全体的な発達に遅れはないが、文字を読んだり書いたりすることがスラスラと正確にできない症状を言う。ディスレクシア、難読症、読み書き障害、など様々な呼び方をすることがある。

13 人に 1 人程いるとされているが、一般的にはまだ知られていないことが多い。

★基本的特徴は、

【文字】 【音韻】 【文字列】 【音韻列】
「さ」 ⇔ 「/sa/」 「さかな」 ⇔ 「/sakana/」

文字を見ても、
音がすぐに
浮かびにくい



音を聞いても、
文字（列）がすぐに
浮かびにくい

文字を見て、頭の中でその音が結び付いたり、反対に音を聞いて文字を思い出したりすることに困難さを伴う。つまり、読み間違える／読むのが遅い／綴りを思い出せない／綴りを思い出すことが遅い、ということ。

机の前で静かに困っていることが多いため、見た目では分からず、努力不足であると言われてしまいやすい。また、ASD や ADHD 等と併存することが多いため、行動特徴に注目が行きやすい。

★支援について

本人と特性について共有することが大切。皆と同じでありたいという気持ちを尊重しつつ、保護者と担当者（ことばの教室）だけでなく、本人の意見も聞きながら対応を考えていく。

【通級児童が行っている支援の例】

- ・振り仮名を振る
- ・分かち書きをする（例⇒今日 私は パンを 食べました。）
- ・漢字の読みテストの実施
- ・読み上げ機能の活用
- ・テストの読み上げ実施
- ・デージー教科書（タブレット上で全教科の教科書を閲覧可、読み上げ機能も付いている）の活用など

★まとめ

読み書きが苦手ということは、他者から共感されにくいいため、日常生活の中で、緊張と不安が続いている。一人でも多くの人に障害について知ってもらい、安心できる環境を整えることが大切。

「学ぶことを好きでいる」ためには、学びの機会を保障することが重要。

目の前の漢字を一つ覚えるよりも、知的好奇心を止めないことの方が将来につながる。

どんな道に進んでもよい、ということを伝え、代償手段や、やらなくてもいい選択肢があるということを伝えてほしい。

当事者が特性を説明でき、周囲がそれを理解してくれる世の中を皆さんと一緒に作りたい。



☆参考 ～関口裕昭 言語聴覚士×発達性ディスレクシア【てと】～Instagram



セルフアドボカシーという言葉をよく耳にするようになりました。自分に必要な支援や配慮を周囲に伝え、理解を求めて、自分らしく生きていくための大切な力です。ことばの教室では、通級している児童が、どこであつても自分らしく学べるよう全力でサポートして参ります。（武石）